

授業概要

上流階級の白人の男性たちの対極におかれ、迫害されてきた黒人、女性について考えてゆく。エドガー・アラン・ポーを中心に、英語圏における性差・人種観などを検証する。毎回歴史的名作と評価される英語圏のゴシック小説を分析し、時に映画化された作品とも比較して講義してゆく。

授業計画

第 1 回	イントロダクション—文学とは何か
第 2 回	文学の現代性—現代におけるエドガー・アラン・ポー
第 3 回	文学と演劇と映画—『オイディプス王』の進化論
第 4 回	現代に蘇る文学—ハーマン・メルヴィルの『白鯨』
第 5 回	エドガー・アラン・ポー論(1) —「黒猫」を読む
第 6 回	エドガー・アラン・ポー論(2) —「アッシャー家の崩壊」を読む
第 7 回	エドガー・アラン・ポー論(3)—「モルグ街の殺人」から『キングコング』へ
第 8 回	南北戦争前の文学— ナサニエル・ホーソーンの『緋文字』を読む
第 9 回	文学における人造人間 —『フランケンシュタイン』から『ブレードランナー』へ
第 10 回	アメリカ文学におけるクイアー —フィッツジェラルドの『グレートギャッピー』
第 11 回	H・P・ラヴクラフト論(1) — クトゥルフ神話における他者
第 12 回	H・P・ラヴクラフト論(2) — 優生学と人種差別
第 13 回	文学における疫病—プラム・ストーカーの『ドラキュラ』
第 14 回	読書終焉の世界—レイ・ブラッドベリの『華氏 416 度』
第 15 回	現代ベストセラー作家たち—スティーヴン・キングの『It』『スタンドバイミー』
第 16 回	定期試験

到達目標

英語圏文学における他者を考察することで、これらの作品が書かれた時代の特徴、地域社会や文化を読み解いてゆく。文学を歴史の反映として学習し、異文化理解や、中学校及び高等学校における外国語科の授業のため教養の土台とする。

履修上の注意

マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。資料を配布するのでファイルを持参のこと。時に恐怖を描く映像を見ることがあるので、苦手な人は注意してほしい。できるだけ普段から関心をもって本を読むように心がけてもらいたい。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（50%）、提出物（レポート）およびコメントペーパーや受講態度（50%）などの総合評価。

テキスト

プリントによる配布資料 また参考文献については適宜指定する。